

令和5年度の重点課題

○「運動やスポーツをすることは好きですか」というアンケートに対する回答については、男子の約87%が好き・やや好きであり、女子の約80%が好き・やや好きであった。前年度と比較して、男子では約6ポイント減、女子では約9ポイント減となった。
○基礎体力を向上させるための柔軟性向上、筋力アップトレーニング等を地道に行わせることが、運動の楽しさを奪う要因とならないよう配慮しなければならない。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○「運動やスポーツをすることは好きではない」と感じている10%を超える生徒に対する丁寧な支援が必要である。
・「楽しいから好き」「好きだから楽しい」という好循環を構築していく。
・グループの中で「すごい、やった」等の歓声が上がったり、アドバイスがあったり、仲間とともに学ぶ経験をさせる。
・生徒の主体的な学びを推進し、課題発見・課題解決学習の場面を多く設定する。
○ウォーミングアップなど自主的な活動場面を設定する。
○体育の授業において、基礎的な体力の向上を図る。
○運動の意義や効果的なトレーニング等に関して、多様な情報を提供していく。
○新体カテストの結果から、自分に必要な今後の取組をイメージさせる。

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	27.27	25.27	41.00	48.24	76.02		8.28	190.94	19.35	38.46	第2学年	22.62	21.91	45.47	42.89	50.82		9.11	163.71	11.20	44.11

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	27.27	25.27	41.00	48.24	76.02		8.28	190.94	19.35	38.46	第2学年	22.62	21.91	45.47	42.89	50.82		9.11	163.71	11.20	44.11

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	66.30	23.76	6.08	3.87	第2学年	39.09	30.00	17.27	13.64

学校独自の意識調査

学校独自の意識調査	
-----------	--

重点課題

情意面での課題

「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える生徒の割合が男女とも増加した。男子は前年比3.97%減、女子は前年比6.84%減となっている。
運動嫌いな生徒や体を動かすこと自体に消極的な様子が見られる。

体力面での課題

男女ともに多くの種目で県平均値かつ全国平均値未満を下回っている。
特に男子では、「長座体前屈・反復横とび・立ち幅跳び」、女子では、「反復横とび・立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値を大きく下回っている。

令和7年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと答える生徒の割合を、男子は5%以下、女子は15%以下にする。
- 「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅跳び」において県平均値かつ全国平均値に近づける。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

◎生徒が主体的に運動する場面を多く設定し、楽しみながら運動できる工夫をする。
「長座体前屈」→授業の導入や終末において柔軟運動を取り入れることで、体全体の柔軟を高めていく。
「反復横とび」→授業の導入や展開の中で俊敏性を高める運動を取り入れる。また、効率的な体の動かし方について、各単元を通して習得させる。
「立ち幅跳び」→陸上競技(走り幅跳び)の単元において、跳躍のコツを教えるとともに、立ち幅跳びの練習に取り組む。

体育の授業以外で行う取組内容

・部活動や地域クラブへ積極的に参加することで、体力向上への意識を高めていく。
・学級活動や学校行事等を通して、学ぶことへの意欲を高めていく。